

第2510地区 第11グループ



2007~2008

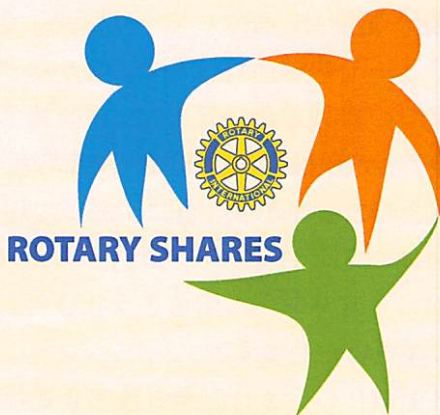
The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

2007~08年度
国際ロータリーのテーマ

ロータリーは 分かちあいの心



2007~08年度
国際ロータリー会長

ウィルフリッドJ.ウィルキンソン

Wilf. Wilkinson

石橋輝夫 会長 テーマ

—— ゆっくりと、ほどほどに ——



4月23日 函館空港 空港長 岡山 裕則 氏

《第2151回例会》 第 41 号 5月7日(水)

本日のプログラム

卓話「地域での福祉ボランティア活動について」

函館市議会議員 能川 邦夫 氏

★会 長 石 橋 輝 夫

★幹 事 渡 部 二 康

例会場：函館国際ホテル
例会日：毎週水曜日 12:30~13:30

〒040-0064 函館市大手町5-10
事務局：函館市大手町5-10 二子ビル4F

TEL23-5151
TEL23-3870

70年の伝統・実績・信用を誇る
火災共済 山敷火災相互会
会長 増田 定雄
〒040-0062 函館市大縄町1-1番29号
TEL (0138) 41-1730 FAX (0138) 40-6406

(広告掲載：増田 定雄 会員)

函館北ロータリークラブのホームページアドレス <http://www.hakodate-north.org/>

◎4月9日出席報告 (増山 正 委員長)

会 員	31名	出席率対象会員	29名
		出席規定免除会員(a)	1名
		出席規定免除会員(b)	1名
当日出席	20名	当日欠席	9名
他クラブ出席	5名	出席合計	25名
出席率		86.21%	

・テレフォンサービス (例会移動案内) 電話 26-3170番

次回・5月18日
プログラム

移動例会「野外家族例会」

於 グリーンピア大沼

4 月 23 日の記録

◎司 会 石橋 輝夫 会長

◎ゲ ス ト 函館空港 空港長 岡山 裕則 氏

◎会長報告 石橋 輝夫 会長

- 4 月 18 日 10、11 グループの会長幹事会が開催され、I M の決算等報告がありました。
- 和歌山城南 R C より 20 周年記念例会時の会報が、会員に 1 部ずつ届いています。

◎幹事報告 渡部 二康 幹事

- 当クラブ 5 月 14 日の例会は 18 日に変更いたします。
- 4 月 28 日 函館亀田 R C、5 月 1 日 函館 R C、2 日 函館五稜郭 R C は夫々自主休会に変更です。
- 5 月 14 日(水) 森 R C で観桜会が行われます。参加を願います。

◎親睦活動委員会 泉 彰 委員長

ニコニコ B O X 投入報告

石橋会長・渡部幹事・中川会員・小笠原会員・弗田会員・森 会員・高田会員・南木会員・増田会員・山下(宣)会員・泉 会員・山下(清)会員・増山会員……空港見学楽しみにしております。

◎函館空港職場訪問

管制塔施設内は写真撮影禁止のため、見学会の様子を掲載できません。そこで今回は、高橋会員と渡部会員に見学会の感想を寄稿していただきました。

○函館空港管制塔見学会報告 高橋 晃 会員

12:30 点鐘 例会 会長報告、幹事報告 昼食

12:50 函館空港長より、空港についての説明を受けその後 2 班に分かれて、管制塔、レーダー室、気象観測室を見学する。

いよいよ、階段を上り一番目の見学施設、気象観測室に入る。部屋の広さは約 80m² 位、パソコン及び各種機材が所狭しと並んでおり、間違っ て機械に触れたら大変な事になると思ったのが第一印象でした。大型のモニターが 2 台あり、テレビでよく見る天気図と雲の動きを映し出す映像、その他各種データを集計して予測をするなどの説明を聞き感心するばかりであった。

二番目の見学施設、本日のメインである管制室、案内役から私語は厳禁、携帯電話の電源も必ず切って下さいとのお願い。テレビの映像でしか見た事のない場所へと入室する。

全面ガラス張りの部屋、2 名の管制官と我々に説明をしてくれた責任者合計 3 名。

管制官の前には、無線装置・その他多種多様の



機材、天井から吊り下げ式の望遠鏡、その中で説明を聞いているうちに無線機から英語の音声が入ってくる。着陸許可を求めているらしい会話、担当官が携帯式望遠鏡にて機影を探し出す。英語にてファイナルアプローチ機に情報伝達し着陸許可を出す。我々が管制室にいる間に丘珠空港からの小型機、関西空港からの旅客機などの着陸に立ち遭う事が出来た。(全く俗物の考えだが、給料どの位貰っているのだろうかと思ってしまう。)

最後にレーダー室、他の部屋とは違い、多少薄暗い部屋へと入っていく。目の前には此れもまたテレビの映像でしか見た事のない丸型レーダーがあり、小さな点が縦横無尽に動いている様に見える。特に速い動きの点があったので質問すると自衛隊のジェット戦闘機との回答、津軽海峡にも自衛隊の対潜哨戒機がいつも行き来をし、潜水艦の情報収集をしているなどの話を聞くと、平和な時代に生まれ、全く平和ボケをしている自分が恥ずかしく思えてくる。

ともあれ、今回の見学を通じて、安全に飛行機を運行する為にどれだけ多くの人間が関わっているのかの一遍を見ることが出来たように思います。今までは飛行機に乗るとキャビン・アテンダントのみ見てきましたが、今後は少し考え方を変えた乗り方をしたいと思います。

○函館空港管制塔見学の感想 渡部 二康 会員

普段、外部の人間が入ることの出来ない場所に入れる。ロータリークラブ会員でなければ実現しないであろうこの管制塔見学をととても嬉しく思い、また同時にロータリアンとして身の引き締まる思いである。世間的にはやっぱり、「ロータリークラブ」というだけで、信用度アップなのだろう。もっと厳重な身分確認やらレクチャーがあるのかと思っていたが、拍子抜けであった。

さて、施設見学について報告したい。地上5階に相当するタワー最上部においてひととおり説明を受けた後、会員からさまざまな質問があり、その回答の中で「飛行機は上空で止まっていられませんで。」との一言。函館空港のように滑走路が1本しかない場合、離陸と着陸で同じ滑走路を使うことになるので、離陸待機の場合は静止状態だが、ひとたび離陸してしまうと、「ちょっとそこでまって」とはならない。(言われてみれば、あたりまえの事だが・・・)どの仕事でも2歩先、3歩先を考えなければいけないのであろうが、まさに瞬間的に動いている物体の位置、地上とは違い前後左右の他に上下まで、さまざまな状況を確認し、適切な指示を出さなければいけない、しかも何百人という乗客の命を左右する管制官という仕事。ベテラン管制官といわれるくらいまでキャリアを積むとストレスで体を壊して休職する、という訳ではないだろうが、管制室の管制官もレーダー担当の管制官も30代~40代の若い方であったのには深い理由があるのだろうか。函館空港のように比較的のんびりした空港ならいいが、羽田や関西空港の管制官なんてどんな神経なのだろうかと思いませんか・・・?

大きなトラブルもなく無事見学を終えることができましたが、管制塔、レーダー室、気象観測室と盛りだくさんの見学で、貴重な見学会でした。この日のために、何度も空港へ足を運びセッティングを全てしていただいた石橋会長に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。



(会報担当者：弗田 和則 委員長)

第2510地区 第11グループ



2007~2008

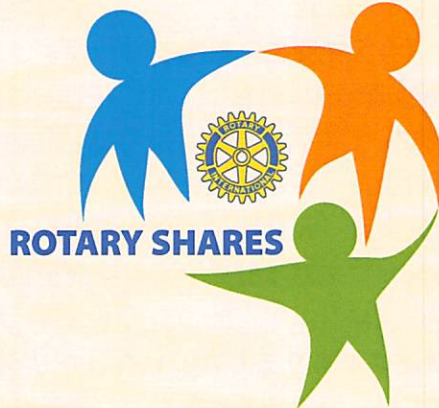
The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

2007~08年度
国際ロータリーのテーマ

ロータリーは
分かちあいの心



2007~08年度
国際ロータリー会長

ウィルフリッドJ.ウィルキンソン

W. J. Wilkinson

石橋輝夫 会長 テーマ

—— ゆっくりと、ほどほどに ——



5月7日卓話 能川 邦夫 氏

《第2152回例会》 第 42 号 5月18日(日)

本日のプログラム

野 外 家 族 会

於 グリーンピア大沼

★会 長 石 橋 輝 夫

★幹 事 渡 部 二 康

例会場：函館国際ホテル
例会日：毎週水曜日 12:30~13:30

〒040-0064 函館市大手町5-10
事務局：函館市大手町5-10 二子ビル4F

TEL23-5151
TEL23-3870